

## 会 議 要 旨

会議の名称	令和7年度 第4回川越市公民館運営審議会
開催日時	令和8年2月4日（水） 午後2時～午後3時30分
開催場所	中央公民館 軽体育室
議長	（会長） 岡田すぎ子
出席者	（副会長） 向坂 晶芳 （委員） 山本 由香里 里村 裕二 大西 麗衣子 水口 博之 塩野 富雄 七五三掛 桜 高野 明夫 川村 公平 志村 和宏 末次 豊 小峰 肇 大澤 三郎 山口 宰 水村 富美子 吉岡 一美 山野 敏子 小西 新一 松本 博明 以上20名（会長・副会長含め）
欠席者	（委員） 米原 民子 長峰 す美子 野村 桂子 以上3名
傍聴人	0名
事務局職員 職・氏名	中央公民館長 中央公民館副館長 中央公民館副主幹 中央公民館主査 南公民館副館長 北公民館館長 芳野公民館長 古谷公民館長 南古谷公民館長 高階公民館長 高階南公民館長 福原公民館長 大東公民館長 大東南公民館長 霞ヶ関公民館長 霞ヶ関西公民館長 霞ヶ関北公民館長 伊勢原公民館長 川鶴公民館長 名細公民館長主 幹 山田公民館長 以上21名
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 「登録グループの活性化と支援」について（報告） (2) 単独公民館における令和7年度事業経過報告及び令和8年度事業展開について（報告） (3) その他 4 閉会
配布資料	1 第4回川越市公民館運営審議会次第 2 川越市公民館登録グループ課題解消への提案（まとめ） 3 第4回公民館運営審議会資料 令和7年度 事業経過報告、令和8年度の事業の展開

	議 事 の 経 過
事務局	1 開会
	2 あいさつ 中央公民館長よりあいさつ 岡田会長よりあいさつ
事務局	3 議題 (1) 「登録グループの活性化と支援」について（報告） 事務局より、別紙資料1により説明。 前々回10月に開催された本公民館運営審議会において、公民館登録グループの現状と課題についてグループに分かれて協議いただき、前回1月に開催された審議会では、その課題に対して解消方法などを協議いただいた。各グループでご協議いただいた課題解消への提案の主な内容について資料1のとおりまとめた。 登録要件や手続きの見直しは取り組みやすいと考えられるため、可能かどうか検討したい。 魅力あるバリアフリー施設の整備は予算面で即時改善が難しい部分もあるが、市では施設計画を策定しており、その計画に沿って着実に改善していきたいと考える。 若年層の取り込みについては、公民館で既に各種SNS等を活用しており、今後も強化したい。ご提案のとおり、子どもを中心に公民館が居場所になるような取り組みも開始している。 一方で、事務局では「登録グループの活性化と支援」を議題にしたが、登録グループにこだわらず、公民館利用率の向上が社会教育の活性化につながるのではないかという意見も出された。 公民館としては、協議いただいた意見を生かしていけるよう公民館運営に取り組んでまいりたい。
委員	【主な意見や質問等】 ・登録グループの手続きの簡素化は、従前から公民館に提案していたので、ぜひ進めて欲しい。
事務局	・他の団体から、子ども食堂での利用で公民館を利用したいという意見があるがどうか。 <回答> 他の団体でも利用事例があるので、公民館を活用していただきたい。

委員	・魅力的な場とは、公民館としてどう捉えているか。公民館には魅力を掘り下げて考えて欲しい。若者を集めるには若者に直接意見を聞く必要がある。
事務局	<p>&lt;回答&gt;</p> <p>中央公民館では連日2階のフリースペースや中庭に多くのこどもが集まっているが、公民館として難しい課題である。当事者に聞くことが少ないので、参考にさせていただきたい。</p>
委員	・登録グループをどうするか様々な意見があるが、若い人をグループに加入させるのは難しいと考えており、自分たち登録グループがどう考えるかが大切だと思っている。8と9月に登録グループ体験会を実施したが、公民館だよりを活用し、アンケートも実施した。アンケートを活かすとともに、公民館の支援を受けながら登録グループでも考えていく必要がある。
事務局	<p>(2) 単独公民館における令和7年度事業経過報告及び令和8年度事業展開について（報告）</p> <p>各単独公民館から資料2により令和7年度の事業で特色のある講座が報告された。また、令和8年度事業を展開する上での考え方や特色のある講座などが報告された。</p>
委員	<p>【主な意見等】</p> <p>・社会生活に欠かせないことを中心に講座が組まれていると思うが、「文学」がないがどう考えるか。（他の委員からは、地域の「地域会議」の中で実施している地区もあると発言があった。）</p>
事務局	<p>&lt;回答&gt;</p> <p>文学講座を実施するにはある程度、報償費がかかる。限りある予算の中で、各公民館がどのような事業をするかを考えている。川越市の事業体系として、子どもから高齢者までのライフステージの中で行う主催事業と登録グループや地域の団体を支援する中で行う事業と区別をしているので、団体支援の中での講座は主催事業としていない。</p>
委員	・歴史講座については、大きなテーマで実施して欲しい。川越は近世には強いが、中世にはスポットが当たっていない。
委員	・南公民館の中学生が小学生に教える取組は、「教えることは学ぶこと」なので非常に良い取組だと感じた。教えることの難しさを体験

	<p>できる。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢原公民館の踊る理学療法士考案の『プレップダンスで健康アップ!』について、参加の年齢層について知りたい。また、サークル化に発展することは良い取組だと感じた。</li> </ul>
事務局	<p>&lt;回答&gt;</p> <p>70代前半が主な参加者であり、フレイル予防にもなった。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日だけの講座と複数回行う講座があるが、テーマが統一されていないように見受けられる。テーマが統一されていないと集客が難しいと考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高階南公民館の「身だしなみ講座」は、開催時期や対象を工夫したほうが良かった。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人のためのブックサロンなどを実施しているが、文学の専門家でなくても詳しいし市民にMCをお願いし、参加者でディスカッションするなど世代を超えて参加できるような工夫をしてほしい。その中で良い講師が発掘できるかもしれない。</li> </ul>
事務局	<p>(3)その他</p> <p>事務局から令和8年度全国公民館研究集会埼玉大会の案内及び協力について説明。</p> <p>4 閉会</p> <p>向坂副会長よりあいさつ</p>